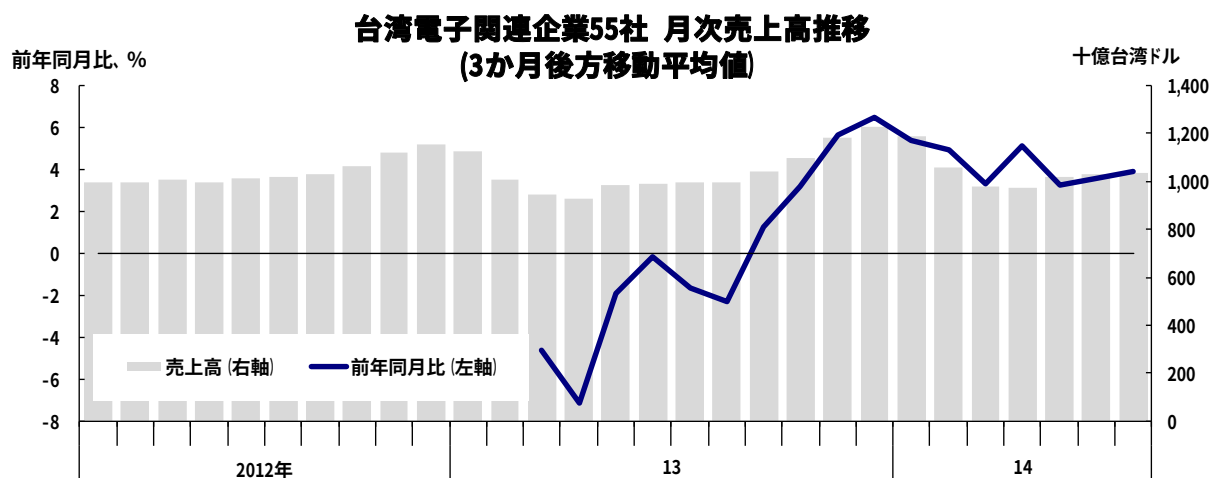


台湾電子関連企業 月次売上高（2014年7月） 新型iPhoneの部品出荷が開始されるも、製品歩留まりに不透明感

○台湾電子関連企業 55 社の 7 月売上高（3 か月後方移動平均値）は前年同月比 3.9%増

- 台湾の主要電子関連企業 55 社（台湾証券取引所に上場している主要な電子関連企業を浜銀総合研究所が抽出）の 7 月の売上高は、前年同月比 4.4%増、3 か月後方移動平均値で同 3.9%増となった。台湾の電子関連企業は、世界の手エレクトロニクスメーカー向けの出荷を多く手掛けており、その売上高の動向は世界のエレクトロニクス市場の先行指標となる。台湾企業の動向から、新型 iPhone 向けの部品出荷が本格的に立ち上がったことが確認でき、電子部品・デバイス市場のモメンタムは再び強まる兆しにある（図表 1）。
- しかし、品目別にみると、半導体関連企業や電子部品関連企業などの売上高が伸びる一方で、組立てを行う EMS（Electronics Manufacturing Service。電子機器の受託製造）企業の売上高が減少している。新型 iPhone の歩留まりに問題がある可能性もあり、今後の動向には注意が必要である。

図表 1 新型 iPhone 部品の出荷開始により増勢は再び強まる兆し



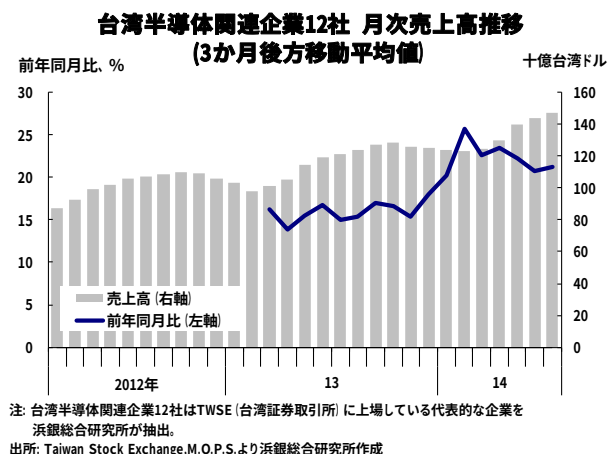
注: 台湾企業55社はTWSE (台湾証券取引所) に上場している電子関連の代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

○半導体関連企業、電子部品関連企業の増勢は強い

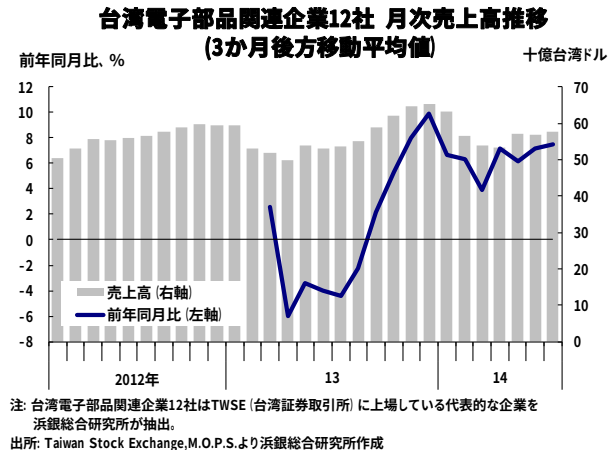
- 台湾電子関連企業 55 社を手掛ける品目ごとに分類すると、半導体関連企業や電子部品関連企業などの増勢が強い。
- 半導体関連企業 12 社の 7 月の売上高は前年同月比 22.2%増、3 か月後方移動平均では同 21.2%増と引き続き高い伸びとなっている（図表 2）。なかでも前工程を手掛ける TSMC や後工程を手掛ける ASE、LSI 設計を行う Media Tek などの売上高が大きく伸びており、半導体関連企業全体の売上拡大に寄与した。
- 電子部品関連企業 12 社の 7 月の売上高は同 8.0%増、3 か月後方移動平均では同 7.5%増

となった（図表3）。スマートフォンなどの金属^{きょう}筐体を製造する Catcher Technology などの売上高が増加しており、新型 iPhone 向けの出荷が本格的に立ち上がったと見ている。

図表2 半導体の売上高は高水準が継続



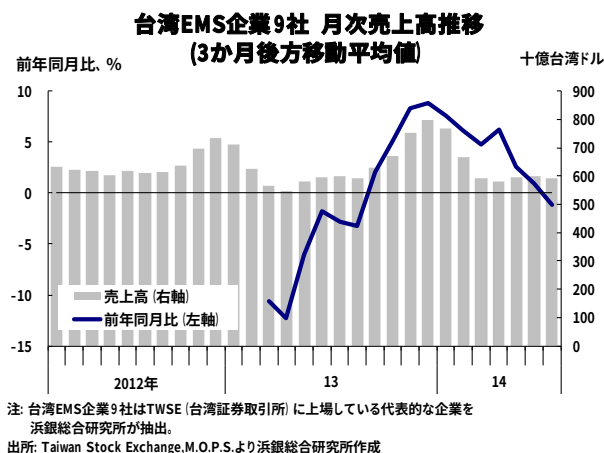
図表3 電子部品の増勢は強まる傾向



○組立てを行う EMS 企業の増勢は弱く、新型 iPhone の歩留まりに懸念が残る

- 一方で、サプライチェーンの川下に位置する EMS 企業の増勢が弱い。台湾 EMS 企業9社の7月の売上高は前年同月比 3.5%減、3か月後方移動平均では同 1.1%減と前年を下回った（図表4）。売上高の減少は、アップル製品の組立てを多く行っている Hon Hai の7月単月の売上高が同 13.3%減となった影響が大きい。
- Hon Hai の低迷は、部品出荷と最終組立てにタイムラグがあることや、アップル向け以外の製品出荷が低迷した影響があると考えられるが、新型 iPhone の歩留まりに問題を抱えている可能性もある。仮に歩留まり問題が発生しており、それが解消されない場合は、新型 iPhone 向けの部品在庫が積みあがることになる。歩留まり問題の有無を確認するためにも、今後の EMS 企業の売上動向には注視が必要である。

図表4 EMS 企業の増勢は弱い



担当：調査部 産業調査室 山鹿 亜紀子

TEL 045-225-2375

E-mail: yamaga@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。